

【7】入園・入学選抜，公開研

調査項目

1. 入園・入学選抜の状況

1-1. 以下の学校種・学年における，R5年度入園・入学選抜の「出願数」を教えてください。

1-1-1. 幼稚園は，年少，年中，年長の出願数を，下の学年から「半角数字カンマ区切り」で記してください。該当がない学年には「0」を入れてください。（年少 55, 年中 23, 年長なしの場合 → 55,23,0）

1-1-2. 小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，義務教育学校は出願数を，半角数字で記してください。

1-1-3. 特別支援学校は各学部の出願数を，下の学年から学部名と共に「半角数字カンマ区切り」で記してください。（小学部 10, 中学部 7, 高等部 6 など）

1-2. 以下の学校種・学年における，R5年度入園・入学選抜の「合格者数」を教えてください。

1-2-1. 幼稚園は，年少，年中，年長の合格者数を，下の学年から「半角数字カンマ区切り」で記してください。該当がない学年には「0」を入れてください。（年少 20, 年中 20, 年長なしの場合 → 20,20,0）

1-2-2. 小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，義務教育学校は合格者数を，半角数字で記してください。

1-2-3. 特別支援学校は各学部の合格者数を，下の学年から学部名と共に「半角数字カンマ区切り」で記してください。（小学部 5, 中学部 4, 高等部 4 など）

1-3. 学校種ごとの入園・入学選抜方法について，以下の選択肢から該当するものを選んでください。（複数選択可）

- ①学科試験（国語的なもの） ②学科試験（算数・数学的なもの） ③学科試験（社会科的なもの）
④学科試験（理科的なもの） ⑤学科試験（外国語的なもの） ⑥実技 ⑦口頭試問
⑧学力調査・発達検査 ⑨行動観察 ⑩面接（本人のみ） ⑪面接（保護者のみ）
⑫面接（本人・保護者両方） その他（ ）

2. 学校研究の取り組み（公開研究会等）

令和4年度に実施された，公開研究発表会についてのご質問です。

1. 実施方法を選択肢から選んでください。

- ①対面 ②オンライン（リアルタイム） ③オンライン（オンデマンド） ④ハイブリッド
その他（ ）

2. 開催日数の合計（数字）を記入してください。

3. 開催月を選択してください。（複数選択可）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

4. 公開教科等について，該当するものを以下の選択肢から選んでください。①-③は幼稚園を，④-⑧は特別支援学校を主な対象とします。（複数選択可）

- ①全クラス公開 ②一部クラス公開 ③公開クラスなし ④教育課程・指導計画 ⑤教科学習 ⑥学習評価・授業改善 ⑦ICT ⑧キャリアプラン ⑨国語 ⑩社会 ⑪地理歴史 ⑫公民 ⑬算数・数学
⑭理科 ⑮生活 ⑯体育・保健体育 ⑰音楽 ⑱図画工作 ⑲美術 ⑳技術・家庭 ㉑家庭 ㉒外国語
㉓情報 ㉔道徳 ㉕総合 ㉖特活 ㉗その他（ ）

5. 全参加者数（数字）を教えてください。（数字記入）

6. 一般の参加者からの参加費（資料代等）の徴収はありますか。無い場合は「0」を，ある場合はその金

額（数字のみ）を記入してください。

概要

本調査は各学校園の、R5 入園・入学選抜の実施状況（出願数、合格数、選抜方法）と、R4 公開研究会の実施状況（実施形態、開催時期・日数、内容、参加者数、参加費、等）について、従来の調査委員会の流れも汲み、定点調査的に実施したものである。入学選抜においては、連絡入学や推薦入試について配慮できず、不十分な調査となった部分はあるが、他附属の状況／自校園の立ち位置を知る参考になれば幸いである。

幼稚園の入園選抜、特別支援学校の入学選抜では、「行動観察」と「面接(本人・保護者両方)」が主に用いられていた。学齢が上がると共に「行動観察」から「学科試験」にシフトしていった。

R4 年度はコロナ禍も落ち着きを見せ、公開研究会は「対面」開催が主流となったが、「どこからでも」、「いつでも」という特性を活用した「オンライン」（オンタイム／オンデマンド）での開催も、「ハイブリッド」を含めると「対面」の8割程度の実施があった。コロナ禍後も、参加のしやすさやICT技術の進展も踏まえ、どのような流れとなるか興味深い。

令和5年度全附連調査委員会実態調査報告

【7】入園・入学選抜，公開研

1. 入園・入学選抜の状況

1-1. 以下の学校種・学年における，R5年度入園・入学選抜の「出願数」を教えてください。

1-2. 以下の学校種・学年における，R5年度入園・入学選抜の「合格者数」を教えてください。

R5年度入園・入学選抜における，出願数と合格数とを，校種ごとに整理し，順番に示す。それぞれの学校園において，自校園の状況を確認する際などの参考になれば幸いである。

※本データは，特に小学校以降の連絡入学や推薦枠等について考慮できていない。補足説明をいただいたものについては，連絡や推薦を除いた数値を挙げたが，そのような前提でご覧いただきたい。

【幼稚園】

1-1-1. 幼稚園は，年少，年中，年長の出願数を，下の学年から「半角数字カンマ区切り」で記してください。該当がない学年には「0」を入れてください。（年少55，年中23，年長なしの場合 →55,23,0）

1-2-1. 幼稚園は，年少，年中，年長の合格者数を，下の学年から「半角数字カンマ区切り」で記してください。該当がない学年には「0」を入れてください。（年少20，年中20，年長なしの場合 →20,20,0）

学年ごとの出願数／合格数分布と，該当する幼稚園数を下表に示す。（例えば，年少中3行目は，年少の出願数が11～20名だったのが11園，合格者数が11～20名だったのが17園，年中の出願数が11～20だったのが5園，合格数が11～20名だったのが4園であったことを示す。）

出願数・合格数の分布と該当する幼稚園の数（年少，年中）

出願数／合格数分布	年少出願	年少合格
0	2	2
1～10	1	1
11～20	11	17
21～30	11	10
31～40	2	6
41～50	6	2
51～60	2	
61～70	4	

年長出願者数と合格者数

出願／合格数	出願園数	合格園数
0	30	29
1	3	4
2	2	2
3	1	0
4	2	2

【小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，義務教育学校】

1-1-2. 小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，義務教育学校は出願数を，半角数字で記してください。

1-2-2. 小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，義務教育学校は合格者数を，半角数字で記してください。

小中学校については，出願数，合格数，倍率の各分布と，該当する学校数を下表に示す。高等学校，中等教育学校，義務教育学校においては，各学校の出願数と合格数とを並べて示す。

小学校 出願数・合格数・倍率の分布と該当する学校数

出願数	校数	合格数	校数	倍率	校数
-----	----	-----	----	----	----

70～100	8	20～50	5	0.9～1.2	6
101～120	10	51～70	12	1.3～1.5	11
121～150	9	71～100	11	1.6～2.0	8
151～200	5	101～110	13	2.1～3.0	4
201～500	6	111～130	3	3.1～4.0	4
501～1000	2			4.1～6.0	5
1001～15010	2			6.1～17	2

中学校 出願数・合格数・倍率の分布と該当する学校数

出願数	校数	合格数	校数	倍率	校数
45～100	4	30～50	6	1.0～1.2	12
101～150	13	51～100	10	1.3～1.5	8
151～200	10	101～120	9	1.6～2.0	11
201～300	11	121～140	12	2.1～3.0	7
301～400	8	141～160	13	3.1～4.0	4
401～700	5	161～205	1	4.1～6.0	5
				6.1～7.5	3

高等学校，中等教育学校，義務教育学校 出願数と合格数（学校ごとに対応付けしたもの）

高等学校		中等教育		義務教育	
出願数	合格数	出願数	合格数	出願数	合格数
148	148	319	66	40	35
157	153	482	93	59	58
221	120	553	150	72	40
392	106	553	150	92	60
416	204	1012	148	340	98
		1012	148		

【特別支援学校】

1-1-3. 特別支援学校は各学部の出願数を，下の学年から学部名と共に「半角数字カンマ区切り」で記してください。（小学部 10, 中学部 7, 高等部 6 など）

1-2-3. 特別支援学校は各学部の合格者数を，下の学年から学部名と共に「半角数字カンマ区切り」で記してください。（小学部 5, 中学部 4, 高等部 4 など）

特別支援学校 学部ごとの出願数，合格数と，該当する学校数（例えば，**小学部 3 行目**は，出願数 3 名だった学校が 2 校，合格数 3 名だった学校が 19 校であったことを示す。）

小学部			中学部			高等部		
出願／合格数	校数 (出願)	校数 (合格)	出願／合格数	校数 (出願)	校数 (合格)	出願／合格数	校数 (出願)	校数 (合格)
1	1	1	3	1	6	1		1
2	2	4	4	1	2	2	1	4
3	2	19	5	2	3	3	1	1

4	1	3	6	8	15	4	3	
5	3		7	3		5	1	2
6	3	1	8	6	1	6	6	5
7	4		9	2		7	5	3
8	4		10	3		8	3	9
9	2		16	1		9	3	2
10	4		18	1		10	2	
11	1					11	1	
12	1					17	1	
13								
14	1							
※その他に、幼稚園1園（出願8→合格8）、高等部専攻科1校（出願?→合格3）あり。								

1-3. 校種ごとの入園・入学選抜方法について、以下の選択肢から該当するものを選んでください。（複数選択可）

1-3. 校種ごとの入園・入学選抜方法

選抜方法	幼稚園 (38)	小学校 (46)	中学校 (54)	高等学 校 (5)	中等教 育 (6)	特別支 援 (29)	義務教 育 (6)
①学科試験（国語的）	0	12	49	5	3	12	1
②学科試験（算数・数学的）	0	12	50	3	3	12	1
③学科試験（社会的）	0	8	35	3	3	0	0
④学科試験（理科的）	0	7	35	3	3	0	0
⑤学科試験（外国語的）	0	0	4	0	0	0	0
⑥実技	3	20	8	1	1	23	2
⑦口頭試問	6	16	2	0	0	4	1
⑧学力調査・発達検査	5	26	2	0	0	13	3
⑨行動観察	36	39	6	2	2	29	3
⑩面接(本人のみ)	0	12	34	2	2	2	1
⑪面接（保護者のみ）	6	7	2	0	0	11	3
⑫面接（本人・保護者両方）	25	12	3	0	0	21	0
その他	2	1	15	4	3	2	2
その他の内容	満3歳児のみ親子面接、抽選	心身発達の諸検査及び様相観察	調査書等 4、集団討論4、他	作文、報告書、個人調査書、グループ活動	適性検査 3、作文	学校医との保健面接、抽選	総合問題、集団討論、中高等部の入試なし

幼稚園では、「行動観察」と「面接(本人・保護者両方)」を実施している園が多かった。抽選のみの園もあった。小学校では、「行動観察」、「学力調査・発達検査」、「実技」、「口頭試問」を実施している学校が多い。学科試験を課している学校もある。面接は学校ごとに対象が異なり、「本人のみ」の学校や「本人・保護者両方」の学校が多かった。中学校では、ほとんどの学校が「国語」や「算数・数学」の学科試験をおこなっている。「社会」や「理科」を実施している学校は65%であった。学科試験以外の項目では、半数以上の学校が「面接（本人のみ）」を実施している。特別支援学校では、すべ

ての学校が「行動観察」を実施している。それに加えて「実技」や「面接（本人・保護者両方）」を実施している学校が多い。高等学校では、すべての学校が「国語」「数学」「外国語」の学科試験を実施している。

2. 学校研究の取り組み(公開研究会等)

令和 4 年度に実施された、公開研究発表会について

2-1. 実施方法を選択肢から選んでください。

①対面 ②オンライン（リアルタイム） ③オンライン（オンデマンド） ④ハイブリッド その他
()

校種ごとの実施方法の分布を下表に示す。（「実施していない」はカウント外とした。）コロナ禍が落ち着きを見せ、全面的に対面が復活してきたが、オンラインの良さも活用した取り組みも進められており、今後の推移が着目される。なお、「ハイブリッド」の定義が曖昧だったので、当日対面開催し、後日配信したものは「対面」にするなどし、その上で判断に迷うものも含めて「ハイブリッド等」として集約した。

2-1. R4 公開研実施方法

実施方法	全体	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育	特別支援	義務教育
①対面	100	21	26	32	5	6	6	4
②オンライン (リアルタイム)	14	2	3	4	0	0	5	0
③オンライン (オンデマンド)	13	3	3	4	0	0	3	0
④ハイブリッド等	52	12	13	13	0	0	12	2

2-2. 開催日数の合計（数字）を記入してください。

開催日数に対する校数数の分布を、校種ごとに下表に整理した。全体の6割弱が、開催日数が1日となっていた。2日間開催だと8割弱、3日間だと8割5分超であった。「実施方法」のデータと対応付けると、対面での開催日数の最大値は「6日」で、それ以上はオンライン開催（研究会等部分的なものも含む）を含んだものである。この辺りの情報の集約の仕方は、実施方法と合わせ、今後の検討課題である。

2-2. R4 公開研開催日数の合計

開催日数	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育	特別支援	義務教育
1	20	21	29	4	7	18	2
2	4	13	14			3	3
3	8	4	2			1	
4	3	1	3	1	1		
5以上		6	3			3	3
5以上の 内訳		6が2校, 5, 7, 10, 17が各1校	5, 6, 14が 各1校			11, 27, 32 が各1校	7, 9, 20が 各1校

2-3. 開催月を選択してください。（複数選択可）

校種ごとの開催状況を下表に記す。「全体」から明らかなように、11月が公開研開催のピーク月で、2月、6月、10月がそれに続く形になっている。一方、3月4月の年度の変わり目と、8月の夏休みの時期には殆ど開催がない。開催時期は、長期休暇や年度の切り替わり等、学校園の行事による制約を受けるが、前年度の研究の集大成とするか、当該年度の活動の整理とするかなど、学校園の考え方も反映されると考えられ、興味深い情報である。

2-3. R4 公開研開催月

開催月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
幼稚園	3	8	1	1	0	12	2	0	3	10	19	4
小学校	7	17	1	1	2	13	6	0	2	7	18	3
中学校	3	7	1	0	6	10	5	2	2	11	27	2
高等学校	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
中等教育	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
特別支援	9	5	0	0	0	1	2	1	1	1	5	5
義務教育	2	1	0	0	0	2	1	0	1	3	4	2
全体	24	44	3	2	8	38	16	3	9	34	77	16

2-4. 公開教科等について、該当するものを以下の選択肢から選んでください。①-③は幼稚園を、④-⑧は特別支援学校を主な対象とします。（複数選択可）

公開研での公開教科等の選択頻度を、校種ごとに整理した一覧を下表に記す。幼稚園は教科等関係なしにクラスの公開、特別支援学校は教科の要素も含みながら、教育課程・指導計画、学修評価・授業改善中心に公開を行っていた。（「公開クラスなし」の3園は、オンライン開催であった。）

その他の校種では教科中心で公開しており、国語から外国語までの各教科（例えば、社会、地理歴史、公民を「社会」として一括りにしてカウント）の平均実施率は70%、「生活」を除くと75%となっていた。

2-4. R4 公開研公開教科等

公開教科等	幼稚園 (38)	小学校 (43)	中学校 (54)	高等学校 (5)	中等教育 学校 (6)	特別支援 学校 (28)	義務教育 学校 (6)
①全クラス公開	32	0	6	0	0	6	1
②一部クラス公開	5	1	12	1	1	4	2
③公開クラスなし	3	0	0	0	0	0	0
④教育課程・指導計画	2	7	2	1	0	12	2
⑤教科学習	0	17	9	1	0	7	2
⑥学習評価・授業改善	0	7	4	0	0	14	1
⑦ICT	0	10	7	1	0	4	1
⑧キャリアプラン	0	0	3	0	0	3	0
⑨国語	0	21	45	5	4	5	5
⑩社会	0	36	42	2	4	1	5
⑪地理歴史	0	1	7	3	1	1	0
⑫公民	0	0	3	0	0	0	0
⑬算数・数学	0	35	44	3	5	5	5

⑭理科	0	35	42	4	6	1	5
⑮生活	0	27	1	0	0	0	1
⑯体育・保健体育	0	36	39	2	5	2	5
⑰音楽	0	33	0	1	1	0	4
⑱図画工作	0	32	3	0	0	2	2
⑲美術	0	0	38	1	1	3	4
⑳技術・家庭	0	1	35	2	2	2	4
㉑家庭	0	20	4	1	1	1	1
㉒外国語	0	31	43	3	5	1	5
㉓情報	0	2	1	2	4	1	0
㉔道徳	0	28	15	0	0	0	3
㉕総合	0	19	12	4	4	0	6
㉖特活	0	11	3	0	0	0	0
㉗その他	2	3	0	1	0	3	0

その他 幼稚園：学年1つ（動画編集にて）、学年別開催

小学校：食育，コンピュータ・サイエンス，国の研究開発指定における独自に設置した7つの教科

高等学校：書道

特別支援学校：職業科，生活単元学習，活単元学習・作業学習・学校設定教科「教養」特色ある学校づくり

2-5. 全参加者数（数字）を教えてください。（数字記入）

参加者数を50人から200人の区分に分け、校種ごとの分布を整理したものを下表に記す。学校規模により参加者数は変わるので、小学校は300人程度、中学校は200人程度、幼稚園は100人程度、特別支援学校は150人程度に参加者のピークがあることが分かる。小中学校では1000人を超える集客力を持つ学校もあった。

2-5. R4 公開研全参加者数

参加者数	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育	特別支援	義務教育
1～50	4	0	0	0	1	6	0
51～100	13	1	8	3	0	2	1
101～200	12	7	14	2	3	13	1
201～300	2	9	16	0	2	4	2
301～400	0	9	6	0	0	0	0
401～500	1	2	4	0	0	0	1
501～600	2	3	2	0	0	0	0
601～800	0	4	0	0	0	0	1
801～1000	0	3	0	0	0	0	0
1001～	0	5	2	0	0	0	0

2-6. 一般の参加者からの参加費（資料代等）の徴収はありますか。無い場合は「0」を、ある場合はその金額（数字のみ）を記入してください。

徴収額を 500 円単位で刻み、校種ごとの選択頻度一覧を下表に示す。全体の 6 割は参加費の徴収がなく、徴収の最高額は 3500 円であった。徴収している中で、一番頻度の高い額は 2000 円、2 番目は 1000 円で、0 円を除いた中での割合は、それぞれ 4 割弱、3 割弱であった。

2 - 6. R4 公開研一般参加者の参加費

一般の参加費 (円)	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育	特別支援	義務教育
0	18	21	35	5	6	22	3
500	4	1	1	0	0	0	0
1000	4	5	6	0	0	3	1
1500	3	1	0	0	0	1	0
2000	6	9	9	0	0	1	2
2500	2	1	0	0	0	0	0
3000	0	8	1	0	0	0	0
3500	0	0	1	0	0	0	0